

平成28年度事業報告

I はじめに

多摩市シルバー人材センターは、昭和55年3月18日に多摩市高齢者事業団として発足し、就業を通じて社会参加を求める健康で働く意欲のある、60歳以上の高齢者に臨時的・短期的又は軽易な作業の就業機会を組織的に確保・提供し、就業の受け皿として重要な役割を果たしてきました。

シルバー人材センター事業は昭和61年に「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」により法制化され、平成20年12月1日から施行された公益法人制度改革関連3法案の施行により、当センターも平成23年4月1日に公益社団法人への移行を行い、新たな業務執行体制でスタートを切りました。

この移行を機に、今後の当センターが進むべき方向を示す「中長期計画(前期)」を平成24年3月に策定しました。

当計画は、センターの理念である「自主・自立」「共働・共助」の下、「明るく楽しい職場」「事故ゼロの職場」「自立安定した経営」の3基本方針のもと、様々な具体的取組みを示したものです。

平成28年度はこの前期計画を締め括る年度として、会員及びセンターの更なる発展を目指すとともに、前期計画における取組みをふまえて、平成29年度以降5カ年の後期計画の更新を行いました。会員数は、近年全国的に減少傾向にあり、当センターとしても会員拡大に積極的に取り組みましたが、前年度より9名減の846名となりました。また就業実人数は806人で前年度と同数となり、就業率(請負)は都内のシルバー人材センターと比べてトップの95.3%となりました。就業機会の拡大については、市・都及び国の新たな補助金を受けて、派遣事業に本格的に取り組み、都内58センター中トップの成果を挙げることができました。事業実績については、会員のご尽力等により請負と派遣を合わせて463,402,171円となり、前年比3.7%増とこれまでの減少傾向から増加に転じました。さらに平成29年1月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し実績を上げるとともに、安全就業の面では、安全・適正就業推進委員会において「目指せ事故ゼロの職場」をスローガンに掲げ組織が一丸となって取り組んだ結果、東京しごと財団から「安全就業優良シルバー人材センター」として表彰を受けました。また、就業先とセンターとの緊密な連絡体制の構築に向けて、情報端末による試行を実施しました。

平成28年度はこうした積極的な取組みを通して、中長期計画のサブタイトル「夢と希望の明日へ」向かい、一致団結して計画実現への歩みを着実に進めました。

次に中長期計画（前期計画）における取り組み概要、及び平成28年度実施した主な事業について述べます。

Ⅱ 前期計画における取り組み概要

中長期計画の前期計画は、平成24年度～平成28年度の5カ年を計画期間とし、全体で88項目に及び取り組み事項が掲げられています。この期間中にはセンターを取り巻く内外の大きな環境変化がありました。実施した主な項目は、「適正な負担額への会費引き下げ」「公開募集推進」「ブラインド就業実態調査」「子育て支援事業終了」「派遣事業本格実施」「緑樹事業のAE制度創設・運営」「ホームメンテナンス事業開始」など全体の95%強となっています。

また、安全・適正就業対策推進基本計画においては、全体で32項目中、実施した主な項目は「安全・適正就業推進委員会の効果的運用」「事故再発防止懇談会の迅速な開催」「BCP策定」「点検シートによる職場安全見回り」、など全体の93%強となっています。

会員数では当初の目標値の約70%、事業実績では約93%、就業率では約106%を達成しました。こうした取り組みを通して、公益法人移行後の発展の礎を築くことができました。

Ⅲ 主な事業

1 明るく楽しい職場

1 会員の入会促進

平成28年度は、会員拡大のため新たな入会パンフレットの全戸配布や、2回の女性限定入会説明会、ホームページからの仮入会手続きなどを行った結果、会員数は昨年4月から本年2月までの11か月間は前年度を上回りピーク時は945名になりました。3月に入り会員本人の病気や、希望する仕事がないこと等の理由から退会する会員が多く、年度末の会員数は846名となりました。今後の課題としては入会者の促進と共に退会者の抑制に取り組むことが重要となっています。また当センターは他と比較して、特に女性会員の比率が低いことから、女性理事及び女性会員による女性会員拡大プロジェクトの検討を行いました。

2 就業公開募集の実施

一般の請負就業については、就業機会を会員に公平・平等に提供するため、センターの「就業の基準」に基づき、年4回の就業公開募集を実施しました。2月の公開募集から場所を子育て支援跡地施設を改修した会議室に変更し、新たに公募に係る就業相談コーナーを設置しました。なおホームページ及び「シルバー多摩だより」に公開募集の案内記事を掲載しました。あわせて、公開募集によって

就業内定した会員の氏名を事務所に掲示し、より透明性を高めました。平成28年度の就業率は95.3%（前年度94.3%）で1ポイント上昇し、都内58センター中トップの高い就業率となっています。

3 就業品質の向上に向けた研修

センターの仕事は全てサービス業です。仕事はプロとして高い就業品質が求められています。就業品質の向上に向けて昨年6月、第3回目となる就業先実態ブラインド調査を行い、その結果をふまえて接遇向上に重点を置いた就業内定者研修を行いました。11月に公共と指定管理、学校部門を対象にお客様アンケートを実施し、いずれも高い評価をいただきました。また12月は初めて清掃業務に係るスキルアップ講座を開催し、1月には職場リーダー・サブリーダー154名の参加により「就業品質向上研修（全体会）」を開催し、市の協力により「認知症サポート養成講座」と会員4名による「適正就業の事例発表」が行われました。

4 社会貢献活動

公益法人移行に伴いセンターの定款に「社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業」が加えられました。センターは会員の主体的な社会貢献活動を支援する観点から、この事業を実施しています。平成28年度は、総合福祉センターでのパソコン無料相談会（10回、延参加者20人）や9月に開催された市主催の長寿を共に祝う会の会場設営（20名参加）、10月に行われた市主催市内3駅前放置自転車クリーンキャンペーン（延参加者9人）に参加しました。また広報活動の一貫として、1月の関戸公民館主催「地域ふれあいフォーラムTAMA」に参画し、センターをアピールしました。

2 事故ゼロの職場

1 安全就業の推進

「安全はすべてに優先する」を基本に、事故ゼロをめざし安全就業に全力で取り組みました。平成28年度は安全・適正就業推進委員会4回、就業品質向上研修1回、安全職場リーダー会議2回、AED研修4回等を開催しました。また安全周知巡回を見直し安全・適正就業推進委員会委員長、副委員長、担当理事、事務局で各職場を訪問しました。平成28年度傷害事故は5件（前年度6件）、賠償事故は7件（前年度7件）発生しました。事故が起きた際は、事故再発防止懇談会で原因究明と措置等を通して再発防止に努めました。こうした取り組みが評価され、東京しごと財団から安全就業優良センターとして表彰を受けました。

2 適正就業の推進

シルバー人材センターの就業には法的制約があります。平成24年度から東京労働局が適正就業の観点から都内センターに対して調査を行ってきており、昨年は隣接のセンターに調査が入りました。この調査は都内全58センターが対象であり、今後当センターに検査が入ることが予測されます。センターとしては、東京しごと財団による適正就業巡回指導の結果などをふまえ、法令遵守の観点から契約書類の適正化や就業実態の把握など発注者（お客様）と協議して、より一層の適正化に努めてきています。また昨年9月厚生労働省が策定した「適正就業ガイドライン」について、研修会や会議等様々な機会を通じて、会員への周知徹底を図りました。

3 就業先との緊密な連絡体制づくり

就業先とセンターとの緊密で安心な連絡体制をつくるため、携帯電話を利用した連絡体制を試行しました。その目的は①就業先とセンターとのタイムリーな連絡調整、②安全・適正就業に関する情報の共有化、③非常時の連絡調整を図ることにあります。試行結果をふまえ平成29年度、端末をスマートフォンに変更して実施することとしました。また本事業にはもうひとつ重要な役割があり、それは現在多摩市が国土交通省「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」の対象地域に選ばれたことに伴い、当センターもこのスマートフォンを活用し、市と連携して市民相互での見守り機能をサポートするという役割も果たしてまいります。

3 自立安定した経営

1 中長期計画の更新

センターの中長期計画は、平成28年度で前期計画が終了することから、前期5カ年計画を振り返り成果と課題を検証しました。そしてその結果をふまえ、今後の環境変化や時代ニーズ等に的確に対応するために、新たに計画を更新し、後期計画（平成29年度～平成33年度）を策定しました。

計画更新は理事会及び安全・適正就業推進委員会等において検討し、センターの理念である「自主・自立」及び「共働・共助」、並びに基本方針である「明るく楽しい職場」「事故ゼロの職場」「自立安定した経営」の三つの方針を継承し、16項目の柱立ての下に計67事業を掲げて、平成33年度の目標値を設定しました。また安全・適正就業に関しては推進基本計画（後期計画）を策定しました。

2 事業実績

平成28年度の請負事業実績は、受託件数が3,515件で前年度より55件の増加、契約金額では443,408,114円で前年度より470,812円、率にして

0.1%の増加となりました。内訳は公共 209,304,987 円で前年度より 0.1%増、企業・家庭・独自事業等民間 234,103,127 円で前年度とほぼ同様となり、その結果公民比率は、公共 47.2%、民間 52.8%となりました。本格実施した派遣事業の実績を加えると、全体の事業実績は 463,402,171 円となり、対前年度比 3.7%の増となりました。また発注者に鋭意働きかけ合意を得て都最賃を参考に配分金単価を改善しました。

3 派遣事業の本格実施

就業機会の拡大と多様な働き方の選択肢確保のため、平成 27 年 10 月から東京しごと財団とともに、都内他センターに先駆けて派遣事業を試行実施し、平成 28 年度から本格実施しました。これにより、従来の「請負」だけでなく「雇用」という形態の働き方が可能になり、今まで以上に会員の持つ知識・経験を活かした就業ができるようになりました。契約実績は 19,994,057 円で前年度比 533.6%の大幅な増加となっており、都内ではトップの実績となりました。

こうした事業展開により昨年 7 月には厚生労働省が、派遣と請負を先進的に取り組んでいるシルバー人材センターとして、当センターを視察に来所されました。

4 指定管理者制度への対応

市体育施設が平成 27 年度に指定管理者制度に移行し、センターは指定管理者に積極的に働きかけ、新規業務も含めて業務を受託でき、平成 28 年度はさらに新たな業務も加えて引き続き業務を受託できたことで、指定管理者導入前の就業者数の 7 割以上の就業を確保できました。このことは会員のご努力による良質なサービスが、指定管理者からも高く評価された結果です。

現在の指定期間は平成 29 年度末で終了しますが、市は平成 29 年 3 月に次の指定期間を平成 31 年度末までの 2 年間とし、現指定管理者を特命で候補者とすると公表したので、センターとしては次期指定期間についても、現指定管理者とより一層の信頼関係を築き、業務の受託を積極的に働きかけてまいります。

5 総合事業への取り組み

介護保険法の改正に伴い、平成 28 年 4 月から市が中心となり介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が始まりました。この事業は地域の実情に応じて住民等が参画し、多様なサービスを提供することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目的としたものです。当センターも市からその受け皿の一つとして、サービス提供団体となることが期待され、昨年 12 月指定通知を受け、センターの地域支援事業が主となって本年 1 月から総合事業をスタートし、早速ご利用者の方にサービスを提供しました。今後も着実に取り組みを進めていきます。

6 総会の運営、理事・理事会の役割強化

公益社団法人移行により、ガバナンスがより一層重要となりました。ガバナンスの観点から総会及び理事・理事会は特に重要です。総会は総社員で構成する最高の意思決定機関であり、理事会は法人事務の執行機関です。平成28度は第6回定時社員総会を開催し、平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画を報告するとともに、第3期理事の選任補充（3名）及び平成27年度決算承認等を行いました。また、毎月理事会を開催して予算及び業務執行の決定、監督等を行いました。さらに各理事がそれぞれ職群担当理事を担当し事業運営に責任を持つとともに、各種委員会を適宜開催し、積極的な事業展開に取り組みました。

4 総会、理事会及び委員会等の開催状況

下記のとおり総会、理事会及び委員会等を開催しました。

(1) 定時社員総会

開催年月日	主な内容
第6回 平成28年6月24日(金) パルテノン多摩小ホール 会員数884人 出席者150人 (委任571人・議決権行使1人)	1 平成27年度事業報告の件 2 平成28年度事業計画の件 3 理事の選任（補充）の件 4 平成27年度決算の承認の件 5 平成28年度安全就業標語優秀作品紹介

(2) 理事会

開催年月日	主な内容
第1回 平成28年4月22日(金)	1 会員入会について 2 第6回定時社員総会の招集決定について 3 会議室（旧ワークプラザ）の改修について 他
第2回 平成28年5月27日(金)	1 平成27年度決算の承認について 2 会員入会について 3 理事候補者の選任について 4 平成27年度事業報告について

	5 第6回定時社員総会議案書の承認について 他
第3回 平成28年6月24日(金)	1 会員の入会について 2 特定費用準備資金等取扱い規則の制定について 3 資産取得資金について 他
第4回 平成28年7月22日(金)	1 会員入会について 2 安全巡回強化月間について 3 危機管理体制について 他
第5回 平成28年8月26日(金)	1 会員入会について 2 職員給与規程の一部改正について 3 嘱託職員雇用要綱の一部改正について 他
第6回 平成28年9月23日(金)	1 会員入会について 2 厚生労働省シルバー人材センター関連予算平成29年度概算要求について 3 市長及び市議会議長への平成29年度予算要望について 他
第7回 平成28年10月28日(金)	1 会員入会について 2 平成29年度予算編成方針について 3 平成29年度シルバー人材センター安全標語の募集について 他
第8回 平成28年11月25日(金)	1 会員入会について 2 平成29年度第7回定時社員総会の開催について 3 職員給与規程の一部改正について 4 嘱託職員雇用要綱の一部改正について 他
第9回 平成28年12月28日(水)	1 会員入会について 2 多摩市介護予防・日常生活支援総合事業における指定第一号訪問事業（訪問型サービスB）運営規程の制定について 3 安全・適正就業推進委員会設置要綱の一部改正について 4 職員給与規程の一部改正について

	<ul style="list-style-type: none"> 5 職員就業規則及び育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 6 事務局長の勤務時間・休日・休暇・給与等の取扱いに関する規程の一部改正について 他
第10回 平成29年1月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 1 会員入会について 2 総合事業について 3 住宅事業巡回業務について 4 お客様アンケート結果について(公共) 5 シルバー派遣事業について 他
第11回 平成29年2月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 1 事務局長人事について 2 第53回2月就業公開募集の結果について 3 平成29年度安全標語について 他
第12回 平成29年3月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 1 中長期計画(後期)の策定について 2 平成29年度事業計画について 3 平成29年度収支予算について 4 役職員の職務及び権限に関する規程の一部改正について 5 AEの選任について 6 職員給与規程の一部改正について 他

(3) 委員会等

会議名	回数
経営会議	毎週
安全・適正就業推進委員会	4回
就業品質向上研修(全体会議)	1回
安全職場リーダー会議(7職群別)	2回
就業者選考委員会	4回
配分金検討委員会	3回
事故再発防止懇談会	11回
就業適正審査委員会	4回
AE会議	8回

(4) 就業研修(会員)

研修名	開催日	参加者	備考
内定者研修	6月8日	44名	接遇研修も実施
	9月9日	52名	接遇研修も実施
	12月9日	41名	接遇研修も実施
	3月10日	42名	接遇研修も実施
新任リーダー研修	5月11・12日	84名	

(5) 就業品質向上研修〈全体会〉(リーダー・サブリーダー)

研修名	開催日	参加者	備考
就業品質向上研修	1月30日	154名	ウィータホール